

カリキュラムのご案内



時間	内容	講師等
14:00 ～14:05	開講	
14:05 ～15:05	BCPのための施設強靱化 ・BCPを支える施設強靱化のための耐震化対策について説明	名古屋大学 減災連携研究センター 山崎暢 研究員
15:15 ～16:45	過去の災害から学ぶ教訓とBCP策定のポイント ・近年の災害と企業の動向 ・BCPの定義と現状 ・習熟度に応じたBCP策定のポイント 質疑応答	MS&ADインター リスク総研株 あいおいニッセイ 同和損害保険株
16:45 ～16:50	閉講 ・アンケート等のご案内	

CHECK!

その他の支援策

あいち・なごや強靱化共創センターでは、当講習会の他、以下WEBサイトにて、企業のBCP策定や災害発生時のボトルネック対策を促進するため、企業防災・BCP策定に関する支援策の一覧を掲載しています。

<http://gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/bcp-index.html>

また、企業のBCP策定や耐震化対策を促進するため、「BCP個別相談窓口」や「BCPを支える施設強靱化個別相談窓口」を設置しています。講習会と併せて、ぜひご利用ください。

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/consultation.html>

あいち・なごや強靱化共創センター

愛知県、名古屋市、名古屋大学が、産業界と共に、大規模災害発生時においても、愛知・名古屋を中核とした中部圏の社会・経済活動が維持されるための研究開発や事業を、産学官が戦略的に推進するため、2017年6月に設立。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学 減災館 402号室
TEL:052-747-6979 FAX:052-789-2975
Mail:kyoso@gensai.nagoya-u.ac.jp Url:<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/>



あいち・なごや
強靱化共創センター
AICHI-NAGOYA RESILIENCE CO-CREATION CENTER

BCP

BUSINESS CONTINUITY PLAN

オンライン 講習会

2021年度
あいち・なごや強靱化共創センターBCP講習会

日時 | 2021年
11月19日(金)

受講料 | 3,000円
(資料代を含む)

“あなたの会社、生き残れますか？”

災害リスクについて認識していますか？

実効性のあるBCPになっていますか？

BCPは策定したままになっていませんか？

緊急時対応体制を定めていますか？

復旧対応について検討、準備していますか？

初動対応について整備していますか？

// 災害に強い強靱な企業作りを目指して! //

BCPを見直して取引先・顧客からの信頼を高める!

企業の経営者・管理者を対象とし、BCPを支える施設の強靱化についての解説とともに、習熟度に応じたBCP策定・見直しのポイントについての講義を通して、BCP改善の推進を図ります。

主催/あいち・なごや強靱化共創センター

共催/愛知県、名古屋市、名古屋大学、名古屋商工会議所、一般社団法人中部経済連合会
協力/あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

募集要項



- 日時** 2021年11月19日(金) 14:00～16:50
- 開催方法** WEB 開催(オンラインミーティングツール Zoom を使用)
- 対象者** BCP策定中・策定済の中小企業の経営者及び防災・BCP担当部門の方など
- 定員** 60名(事前申込制・先着順)
- 参加費** 受講料3,000円(資料代を含む)
- 申込方法** ①WEBでお申込 (FAXでの申込は受付けておりません。)

WEB上の所定のページ(①<https://www.kyoso-seminar.com>)より入力画面に進んでお申込ください。登録完了後、『登録完了メール』を送付いたします。

※申込メールアドレスを登録させていただき、登録されたメールアドレスへZoomの参加情報をお届けします。※同じメールアドレスでの登録はできません。ひとつのメールアドレスに対して、1名の参加が基本となります。

※定員を超過した場合は、御参加いただけない方へ御連絡します。



②事前アンケートをEメールにて送付

参加申込後1週間以内に、「BCP事前アンケート」をWEB上のページ(②<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/seminar&event.html>)からダウンロードし、各項目を御記入の上、Eメールでお送りください。

送付先 info@kyoso-seminar.com

※次ページにアンケートの見本を掲載しています。



③受講料について

お申込受付後、受講料振込先を御連絡します。指定された支払期限までに、受講料をお支払いください。資料はお支払いの確認後に郵送いたします。

※本講習会の受付及び受講料徴収は、ニッコアイエム株式会社へ委託して行っております。

WEB会議ツールは「Zoom」を使用します。ご視聴いただける環境(カメラ・マイク付きPC[外付け可]と、最新バージョンのブラウザ、アプリ、OSを使用した、インターネット接続が良好な環境)が必要です。

講習会の中止

以下のいずれかに該当する場合は、講習会を中止します。中止の場合は、あいち・なごや強靱化共創センターWEBページ(<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso>)でお知らせします。

- 県内の一部又は全域に大雨、洪水、暴風、高潮における警報又は大雨、暴風、高潮、波浪における特別警報、「伊勢・三河湾」又は「愛知県外海」における津波警報又は特別警報(大津波警報)のいずれかが発表され、かつ、県内の一部又は全域に相当規模の災害が発生した場合又は発生する恐れがある場合
- 南海トラフ地震臨時情報が発表された場合
- 県内で震度5弱以上、又は名古屋市で震度4以上の地震が発生し、かつ、県内の一部又は全域に相当規模の災害が発生した場合又は発生する恐れがある場合

お問い合わせ先

[受講申込について]

ニッコアイエム株式会社

電話:052-908-3939

FAX:052-908-3940

メール:info@kyoso-seminar.com

[講習内容について]

あいち・なごや強靱化共創センター

電話:052-747-6979

FAX:052-789-2975

メール:kyoso@gensai.nagoya-u.ac.jp

BCP事前アンケート



このアンケートは見本です。HPよりデータをダウンロードして、参加申込後1週間以内に、Eメールでお送りください。

テーマ	小項目	連番	チェック項目	はい	いいえ	左記項目についての貴社の課題意識、不足している点など(自由記述)
1 リスクの認識	■災害リスクの把握	1	自社の主要拠点で想定される地震の特性(震度、液状化、津波など)や発生確率などを把握している。また、浸水ハザードマップを確認するなど、水害、土砂災害の危険性を把握している			
	■被害想定	2	災害が発生した場合の、自社の人的被害・物的被害およびユーティリティ(電気・水・ガス・通信)被害想定を把握している			
	■建物状況の把握	3	建築年月や構造、建物所在地などから自社建物の損壊リスクを把握している			
	■設備の耐震化	4	社内の設備やシステム機器に対して耐震固定などの被害軽減策を実施している			
2 緊急時対応体制	■緊急時の対応組織	5	災害対策本部など、緊急時に対応する組織を整備し、組織設置基準を定めている			
	■役割	6	緊急時対応組織のメンバーや役割分担、指揮命令系統が定められている			
	■代行者	7	重要な役割を担う者が負傷したり連絡がつかなくなった場合に備え、権限移譲や、代行者もしくは代行順位が定められている			
	■リモート活用	8	在宅勤務者や、夜間休日発災を考慮し、対策本部メンバーを出家させず、リモートで対策本部活動を実施できる環境を整えている			
3 初動対応	■個人の安全確保	9	従業員個人が身の安全を守るための行動手順が整理され、従業員に周知している			
	■備蓄品	10	水・食料・簡易トイレ・防寒具等の備蓄品を準備している			
	■自衛消防活動	11	災害発生直後の負傷者救出・救護の体制や資機材が整備されている			
	■避難ルール	12	避難の判断者や判断基準が定められている			
	■安否確認	13	安否確認システムを導入しているか、従業員の緊急連絡先リスト(連絡網)が整備され、常に最新の状態になっている			
	■通信手段の確保	14	固定電話や携帯電話以外に、非常時を想定した通信手段を準備している			
	■情報収集	15	収集すべき被害情報の項目や収集手順が整理されている			
	16	社外の関係先(主要な取引先、設備業者、インフラ業者、行政など)について緊急時の連絡先リストが整備され、常に最新の状態になっている				
4 復旧対応	■帰宅ルール	17	従業員の安全に配慮した災害時の帰宅ルールを整備している			
	■重要業務の選定	18	災害時に優先的に継続・復旧すべき「重要業務」が選定されている			
	■目標復旧時間の設定	19	重要業務ごとに目標復旧時間を設定している			
	■経営資源の洗い出し	20	重要業務の遂行に必要な不可欠な経営資源(ヒト、モノ、カネ)が特定されている			
	■復旧対策の検討	21	災害時に重要業務を継続もしくは早期に再開させるための対策(代替手段など)が検討されている			
	■資金調達	22	災害時の資金調達について準備している			
	■取引先のBCP	23	取引先のBCP策定状況を把握している			
5 BCへの取組姿勢	■非常時の協力	24	非常時に協力を得られる同業他社や関係会社がいる			
	■広報	25	災害時に自社の操業状況や復旧見直しを広報する準備がある			
	■従業員教育	26	防災の基礎知識や災害時の対応手順を理解させるための従業員教育を年1回以上実施している			
	■訓練	27	災害直後の初動対応や、重要業務を再開・継続させるための復旧対応の訓練(BCP訓練)を年に1回以上実施している			
	■BCP策定期間	28	貴社BCPは、何年前に策定したのか		年前	
	■見直し	29	BCP策定後、見直したことがある			
	■経営層の積極的参加	30	BCP発動訓練に、社長などの経営者層が積極的に参加している			
■BC上の課題	31	今の自社のBC上の課題が何か把握している				

上記以外の課題やセミナーで取り上げて欲しいテーマなどがありましたら自由に記載してください

BCP策定・見直しにあたり質問事項がありましたら自由に記載してください